



## 2021年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年8月11日

上場会社名 株式会社 安楽亭  
 コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 先  
 問合せ先責任者 (役職名) 総務人事部 課長 (氏名) 町田 英之

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 2020年8月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	5,268	35.2	△1,084	—	△1,032	—	△1,152	—
2020年3月期第1四半期	3,897	△6.1	91	△0.7	96	8.9	64	58.3

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 △1,148百万円 (—%) 2020年3月期第1四半期 59百万円 (51.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	△538.82	—
2020年3月期第1四半期	30.27	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	21,584	4,521	20.9
2020年3月期	21,890	5,670	25.9

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 4,521百万円 2020年3月期 5,670百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2021年3月期	—				
2021年3月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響を現時点におきましては合理的に算定することが困難なため未定といたします。今後の動向を見極め、業績予想の開示が可能になった時点で速やかに公表いたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	2,139,434 株	2020年3月期	2,139,434 株
② 期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,388 株	2020年3月期	1,343 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	2,138,050 株	2020年3月期1Q	2,138,268 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(追加情報) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大に起因する外出自粛等により消費活動が停滞し、あわせて、米中貿易摩擦の激化等、世界経済の不確実性も高まる状況にありました。

外食産業におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた休業要請や外出自粛等により来客数が激減し、緊急事態宣言の解除後も外出自粛の傾向が見受けられ、厳しい環境が継続しております。

このような環境の下、当社グループは、お客様や各従業員の安全を第一に、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様の基本ニーズである「安全・安心」に徹底してこだわった商品提供を堅持するとともに、店内の衛生管理を強化・徹底し、また、弁当をはじめとするテイクアウトのメニューを拡充し、さらにWebでの注文を可能とする等、お客様に満足いただける環境づくりに注力してまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高52億68百万円（対前年同期比35.2%増）、営業損失10億84百万円（前年同期は営業利益91百万円）、経常損失10億32百万円（前年同期は経常利益96百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失11億52百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益64百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は174店舗であります。内訳は直営124店舗、暖簾12店舗、FC38店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、上質な肉の組み合わせを中心とした「プチごほうびメニュー」、対象商品のご注文で生ビール無料券をプレゼントする「お肉&ビール モリモリ祭」、上質な和牛をお得価格で提供する「元気をお届け！黒毛和牛メニュー」、アイドルグループ「ときめき宣伝部」とのコラボフェア等、安楽亭の楽しさを伝える企画を実施し、スマホアプリやLINE配信、Twitter等を中心にお客様へのご案内を展開してまいりました。また、4月にフジテレビ「Live News it!」にて紹介される等、安楽亭の取り組みをお知らせする機会の増加に努めてまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は20億53百万円（対前年同期比36.7%減）となり、セグメント損失（営業損失）は1億92百万円（前年同期はセグメント利益2億14百万円）となりました。

#### ② 七輪房業態

七輪房業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は29店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾3店舗、FC3店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「七輪房の日」、アイドルグループ「ときめき宣伝部」とのコラボフェア、「贅沢かき氷」の販売開始、「黒毛和牛と生ビール祭」の実施等、皆様を元気づけるとともに七輪房の楽しさを伝えるフェアを実施し、安楽亭業態同様、スマホアプリやLINE配信、Twitter等によるご案内を展開してまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は3億54百万円（対前年同期比37.9%減）となり、セグメント損失（営業損失）は44百万円（前年同期はセグメント利益34百万円）となりました。

#### ③ アークミール

アークミール各業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は154店舗であります。内訳は直営153店舗、FC1店舗であります。

なお、アークミール各業態には、「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス（ステーキ）」、「donイタリアーノ（イタリアン）」を含んでおります。

「ステーキのどん」、「しゃぶしゃぶどん亭」、「フォルクス」においてはテイクアウトの充実、各種クーポンの配信等を行い、来店促進を図ってまいりました。

以上の結果、アークミールの当第1四半期連結累計期間の売上高は27億96百万円となり、セグメント損失（営業損失）は6億76百万円となりました。

④ その他業態

その他業態の当第1四半期連結会計期間末の店舗数は10店舗であります。内訳は直営5店舗、FC5店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋(焼肉)」、「国産牛カルビ本舗安楽亭(焼肉)」、「花炎亭(焼肉)」、「安楽亭ベトナム(焼肉)」、「えんらく(焼肉食べ放題)」、「春秋亭(和食)」、「上海菜館(中華)」、「香港式中華バル ネイザンロード(中華)」、「アグリコ(イタリアン)」、「カフェビーンズ(喫茶)」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第1四半期連結累計期間の売上高は64百万円(対前年同期比22.6%減)となり、セグメント損失(営業損失)は21百万円(前年同期はセグメント損失3百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ3億5百万円減少し、215億84百万円となりました。これは、原材料及び貯蔵品の減少、受取手形及び売掛金の減少、減価償却による有形固定資産の減少等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ8億42百万円増加し、170億62百万円となりました。これは、短期借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ11億48百万円減少し、45億21百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月22日に公表いたしました2020年3月期決算短信においては、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を合理的に算定することが困難であるため、未定とさせていただきました。緊急事態宣言は解除されましたが、現時点においても収束時期の見通しが立たない状況が続いております。従いまして、2021年3月期の業績予想につきましては、引き続き未定とさせていただき、今後の市場動向や店舗営業の推移により、業績予想を合理的に見積もることが可能になった時点で、速やかに公表させていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,573,998	3,993,167
受取手形及び売掛金	678,520	538,406
商品及び製品	146,388	206,446
仕掛品	1,309	825
原材料及び貯蔵品	884,147	618,931
前払費用	441,901	381,240
その他	299,610	199,887
貸倒引当金	△4,907	△4,907
流動資産合計	6,020,969	5,933,998
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,810,324	3,720,372
機械装置及び運搬具(純額)	70,948	65,491
工具、器具及び備品(純額)	414,749	388,795
土地	6,290,349	6,290,349
リース資産(純額)	195,102	168,545
建設仮勘定	68,986	135,069
有形固定資産合計	10,850,461	10,768,623
無形固定資産		
のれん	69,876	64,175
その他	427,869	425,587
無形固定資産合計	497,745	489,762
投資その他の資産		
投資有価証券	134,525	138,944
長期貸付金	10,828	11,075
長期前払費用	377,845	345,606
繰延税金資産	306,783	263,459
敷金及び保証金	3,683,310	3,625,779
その他	34,555	33,930
貸倒引当金	△26,996	△26,945
投資その他の資産合計	4,520,852	4,391,850
固定資産合計	15,869,059	15,650,237
資産合計	21,890,029	21,584,235

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,062,389	702,277
短期借入金	2,522,572	3,730,260
リース債務	105,156	92,860
割賦未払金	252,521	239,173
未払金	545,971	520,980
設備関係未払金	54,566	12,440
未払費用	1,006,168	1,063,876
未払法人税等	156,861	193,591
未払消費税等	393,306	487,269
賞与引当金	161,175	107,297
転貸損失引当金	13,297	13,297
店舗閉鎖損失引当金	41,899	61,630
資産除去債務	15,058	19,726
その他	578,985	601,715
流動負債合計	6,909,929	7,846,397
固定負債		
長期借入金	6,766,030	6,701,971
リース債務	198,919	178,557
長期割賦未払金	796,907	801,092
繰延税金負債	103,715	103,934
役員退職慰労引当金	349,335	352,707
転貸損失引当金	22,836	19,512
退職給付に係る負債	560,640	552,477
資産除去債務	378,721	374,633
その他	132,625	131,125
固定負債合計	9,309,733	9,216,011
負債合計	16,219,662	17,062,408
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,472,098	2,472,098
利益剰余金	25,054	△1,126,966
自己株式	△7,601	△7,801
株主資本合計	5,671,936	4,519,716
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,043	△843
為替換算調整勘定	△1,576	△1,576
退職給付に係る調整累計額	5,049	4,529
その他の包括利益累計額合計	△1,570	2,109
純資産合計	5,670,366	4,521,826
負債純資産合計	21,890,029	21,584,235

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	3,897,158	5,268,414
売上原価	1,418,103	1,998,029
売上総利益	2,479,054	3,270,384
販売費及び一般管理費	2,387,530	4,354,864
営業利益又は営業損失(△)	91,524	△1,084,479
営業外収益		
受取利息	253	1,166
受取配当金	1,196	1,200
受取地代家賃	1,562	14,806
貸倒引当金戻入額	161	—
その他	12,014	66,199
営業外収益合計	15,188	83,373
営業外費用		
支払利息	8,711	20,454
賃貸収入原価	1,458	9,530
その他	436	959
営業外費用合計	10,606	30,943
経常利益又は経常損失(△)	96,106	△1,032,050
特別利益		
固定資産売却益	15,267	—
受取保険金	52,016	—
特別利益合計	67,284	—
特別損失		
固定資産除却損	494	4,428
固定資産圧縮損	50,185	—
賃貸借契約解約損	—	56,731
特別損失合計	50,679	61,159
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	112,711	△1,093,210
法人税、住民税及び事業税	20,640	15,223
法人税等調整額	27,336	43,587
法人税等合計	47,976	58,810
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64,734	△1,152,020
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	64,734	△1,152,020

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	64,734	△1,152,020
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,452	4,199
為替換算調整勘定	△677	△0
退職給付に係る調整額	—	△519
その他の包括利益合計	△5,130	3,680
四半期包括利益	59,604	△1,148,340
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	59,604	△1,148,340

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大の影響に関する会計上の見積り)

当第1四半期において、前連結会計年度に記載した会計上の見積りを行う上での仮定についての重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	3,243,193	571,094	82,870	3,897,158	3,897,158	—	3,897,158
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	3,243,193	571,094	82,870	3,897,158	3,897,158	—	3,897,158
セグメント利益又は 損失(△)	214,225	34,518	△3,538	245,205	245,205	△153,681	91,524

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、(株)FSDから2店舗を譲り受けたことにより、のれんが発生しております。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第1四半期連結累計期間においては60,668千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	安楽亭業態	七輪房業態	アークミール	その他業態	計			
売上高								
外部顧客への 売上高	2,053,064	354,819	2,796,411	64,118	5,268,414	5,268,414	—	5,268,414
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,053,064	354,819	2,796,411	64,118	5,268,414	5,268,414	—	5,268,414
セグメント損失 (△)	△192,177	△44,810	△676,389	△21,320	△934,698	△934,698	△149,781	△1,084,479

(注) 1. セグメント損失の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。